

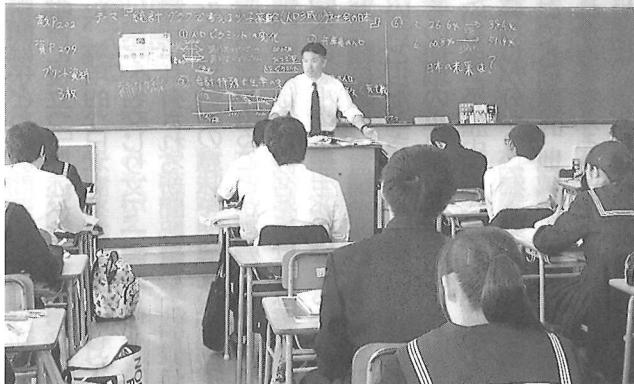
兵庫NIEニュース

第58号

発行 兵庫県NIE推進協議会

〒650-8571 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸新聞社内
TEL (078)362-7054 FAX (078)362-7424

E-mail hyogo-nie@kobe-np.co.jp HP http://www8.kobe-np.co.jp/nie/hyogo/



統計グラフから日本の将来を考えた佐々木教諭の授業

姫路東高校で公開授業

新聞を教育現場で活用するNIEの公開授業が11月7日、姫路市本町68の県立姫路東高校であった。1年の国語総合、3年の倫理の2科目2クラスで実施。NIEに取り組む県内の中学校、高校の教諭ら15人が参加し、「記事に添えられたグラフや図表を本文と関連付けて読み解く授業などからNIEの学習指導への理解を深めた。

同校は日本新聞協会のNIE実践指定校として2年目。「国語総合」担当の池田諭と「倫理」担当で同協会NIEアドバイザーの佐々木寛人教諭を中心に、教科書

生徒らは、民泊が注目されることは4時間構成で展開。この日は4時間目の取り組みに当たり、「民泊」についての新聞記事を用い、本文と図表の関係を学ぶねらいとした。

同教諭は「図表を複数用いた記事から、図表を含む

実用的な文章を読み解する力

の習得につなげたい」とし

ている。

池田教諭は「図表の役割を考えて読む」をテーマに4時間構成で展開。この日は4時間目の取り組みに当たり、「民泊」についての新聞記事を用い、本文と図表の関係を学ぶねらいとした。

同教諭は「図表を複数用いた記事から、図表を含む実用的な文章を読み解する力の習得につなげたい」としている。

生徒らは、民泊が注目されることは4時間構成で展開。この日は4時間目の取り組みに当たり、「民泊」についての新聞記事を用い、本文と図表の関係を学ぶねらいとした。

同教諭は「図表を複数用いた記事から、図表を含む実用的な文章を読み解する力の習得につなげたい」としている。

教材に新聞の図表活用

本文と関連付け読み解く

浩二教諭の各授業が披露された。

池田教諭は「図表の役割を考えて読む」をテーマに4時間構成で展開。この日は4時間目の取り組みに当たり、「民泊」についての新聞

記事を用い、本文と図表の関係を学ぶねらいとした。

同教諭は「図表を複数用いた記事から、図表を含む実用的な文章を読み解する力の習得につなげたい」としている。

佐々木教諭の授業は新聞掲載の統計グラフを使い、分かりやすさを追求した指導が特徴。今回は人口ピラミッド（男女別に年齢ごとの人口を表したグラフ）や生産年齢人口の急減、さまざまな業界での人口を表したグラフ）や人手不足深刻化も、グラフから学んだ。

佐々木教諭の授業は新聞掲載の統計グラフを使い、分かりやすさを追求した指導が特徴。今回は人口ピラミッド（男女別に年齢ごとの人口を表したグラフ）や生産年齢人口の急減、さまざまな業界での人口を表したグラフ）や人手不足深刻化も、グラフから学んだ。

実践指定校 11校を募集

兵庫県NIE推進協議会は、2019年度のNIE実践指定校を募っている。対象は県内の国公私立小・中・高校と特別支援学校で、校長の承認が得られることを条件としている。

18年度の指定校は20校。このうち、19年度も継続する学校を除き、新たに11校を募集する。応募多数の場合には地域や校種などを配慮して選考する。指定期間は原則2年で、日本新聞協議会と連携した全国レベルの取り組み。各実践指定校は県内で発行される。

19年度、県推進協

てある。日刊6新聞を各1部ずつ、実践教諭の人数に応じて、4カ月または2カ月間、無料で提供される。さらに、記者派遣事業を利用できる。NIE実践について説明するオリエンテーションもある。指定校には年度末、同推進協議会発行冊子用の実践報告書(A4判4枚)と同新聞協議会への報告書(A4判1枚)を提出してもらっている。

希望校は、兵庫県NIE推進協議会事務局(078-362-7054)と、4(事務局レベルでの応募締め切りは19年2月28日)

岩手・盛岡で全国大会開催

生きる力を育むNIE



新聞力について語る
齋藤孝教授

第23回NIE全国大会盛岡大会（日本新聞協会主催、岩手県NIE協議会・岩手日報社主管）が7月26・27の両日、岩手県盛岡市内で開かれ、全国各地の教育・新聞関係者ら約1600人が参加した。「新聞と歩む『復興、未来へ』」をスロー・ガングに、記念講演のほか座談会、実践発表や公開授業の分科会が繰り広げられた。兵庫県からは小・中・高校の教諭12人が赴き、子どもたちの未来を切り開くNIEの可能性を探った。

問題解決型学習に有効 1600人参加

初日の開会式で、同協会の白石興一郎会長は、「新学習指導要領の総則に新聞の活用が明記され、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、新聞が格好の学習材料との認識が深まった。新聞を通して日々、信頼できる情報、多様な意見や価値観に触れることは語彙力やコミュニケーション能力、情報化社会でのメディア・リテラシーを育み、子どもの学びを支え、各自の生

部の齋藤孝教授が「新聞力と復興」と題して記念講演した。齋藤教授は、新聞は震災や豪雨災害など各地の経験を共有できる教材として、月曜の朝読書の時間での記事切り抜き発表を提案した。4人一组となり、1人が選んだ記事をノートの左側に貼り、他の3人がそれぞれ1分間で回し、右側に意見や感想を書き、最後に選んだ本人がみんなの思いを踏まえてまとめる手貼り、他の3人がそれぞれ1分間で回し、右側に意見や感想を書き、最後に選んだ本人がみんなの意見をまとめる手

◆新聞力を再発見 続く全体会では、「声に出して読みたい日本語」「新聞力」などを読む著書で知られる明治大学文学の著書で、新聞は子どもたちの問題解決型の学習に役立つ」と述べた。また、実用的な日本語を鍛えるには漢字仮名交じり文で「義と強調。「記事は振り仮名をつければ読める。小学1年生からでも親と一緒に難しい言葉を読むとい」とした。さらに、「新聞にはその地域の記事が載っており、ふるさとの歴史や産業人々の暮らし方が分かり、「郷土愛を育む点でも効果的。地域や日本これからを考えうえで新聞は欠かせない」と話していた。

◆東日本大震災と報道 この後、大会スローガンを受けて基調提案、座談会が行われた。座談会は震災を経験した若者部と報道現場・教育現場から（大人の部）の2部構成。第1部では小学生、中学生の時に東日本大震災を経験した岩手県立釜石高校2年生、宮城教育大学教育学部3年生が登場。

2日目は17の分科会・特別分科会があり、岩手県内の小・中学校による公開授業、教師の実践発表があつた。津波被害が大きく、大槌町では特別分科会として、小中連携校の町立大槌学園で6年生、9年生の授業が実践発表があつた。津波被害があつた。生徒の作文は個人情報の点で配慮しながら全国紙、各地の地方紙に投稿したといい、新聞を教育に用いることで経験した世代が知らない世代に伝えることで、風化を防止できる「新聞を教育に用いることで将来、子どもたちの学びを深めたい。未来を担うには過去の情報を知ることが大事そのためには新聞が有効」と話していた。

◆大槌町で公開授業 同校は普通科コース制の私立高校で、生徒の7割が進学。プロ野球・メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手らの出身校として聞かれていた。教員異動がない私学の特性を生かし、生徒らの進路選択に役立つNIE活動を推進する校内の組織づくりにも取り組んだ。発表した教諭は3年担任となる機会が多く、進路指導を考える立場にあつたそうで、生徒たるもの進学や就職に際し「世の中の動きに興味を持ち、相手の話を聞く力、意見を話す力、文章を読む力、文章を書く力が欠かせない」と分析、新聞を活用した学習を始めた。

花巻東高校が実践発表

花巻東高校が実践発表

新聞各社の読者投稿欄を利用した花巻東高校（花巻市、約640人）の実践が、分科会で発表された。新聞投稿の文章作成から生徒の読解力や表現力を伸ばす全学年での活動。主導した国語科の教諭は「自ら発信することで言葉の重みを知り、話すことや書くことへの責任感が増した」と報告していた。

言葉の重み 自覚深まる



新聞投稿欄を利用して表現力を伸ばした花巻東高校の実践発表

NIE春夏秋冬

教科のねらいに迫るツール

新聞離れが言わされ続けていますが、一方では、当たり前のよう朝のテレビ番組で、新聞の1面の読み比べをしていく。視聴者が、自ら新聞を手に取って読むことはないが、見出いや写真を面白おかしく紹介しながら解説していくので、ついつい引き込まれていく。そして、通勤電車では、ひと昔前のような上手に疊んだ新聞ではなく、スマートに配信された新聞記事をピンチアウト（拡大）しながら読んでいる情景がある。新聞を読む形も、進化したと思われる。

「新聞つておもしろい」と



■特任アドバイザー

伊丹市立天神川小学校

津田 康子教頭

いう授業を4年生で実践したのが、かれこれ15年前。児童が思い思いに切り取った記事を学級で分類していく中で、「新聞つて大人の読む物だと思っていたけど、いろんな事が載つておもしろいな」という気づきから興味を持たせる導入だった。今でも、依頼があれば新聞片手に出張授業をすることがあるが、新聞は学力差に左右されず、一人一人の興味関心を持続しつつ、各教科のねらいに迫るツールとして非常に有効だと感じている。

現在では、小学校5年国語の教科書に新聞の紙面構成

とあります。そこには、思わず引きつけられる写真や見出しがみつかります。これからますますの新聞の進化を期待します。

見出しの工夫などが取り上げられ、教材としても立派にその地位を築いています。そして、新しい学習指導要領においては、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かす活動が期待される。

これからNIEをやってみたところだ。今でも、依頼があれば新聞片手に出張授業をすることがあります。ぜひ子どもたちと一緒に新聞を広げるとこ

とあります。そこには、思わず引きつけられる写真や見出しがみつかります。これからますますの新聞の進化を期待します。

「いっしょに読もう！新聞コンクール」

兵庫から4個人と6校入賞

同協会事務局や各都道府県NIE推進協議会による1次審査、同協会NIE専門部会による2次審査を通過した作品について最終審査が行われ、個人賞の最優秀賞3点（小中高校各1点）、優秀賞30点、奨励賞120点、学校賞4点を選定した。

兵庫県の児童、生徒からはいつしょに読もう！新聞コンクールの入賞者が11月27日発表された。兵庫県内からは個人賞の中・高各部門で4人、学校賞部門で6校が受賞した。今年は全国47都道府県と海外から52155点（前回比4456点増）が寄せられ、学校賞の団体応募は420校だった。

（敬称略）

■受賞者
選奨賞：加藤遙人（尼崎市立大庄北中1年）、小西聰一郎（尼崎市武庫塚総合高2年）、八代彩乃（尼崎市立平木中、県立藤原大輝（県立姫路西高1年）
△学校奨励賞：尼崎市立大庄北中、西宮市立平木中、県立武庫塚総合高、県立伊丹高、県立姫路西高、武庫川女子大

学校では218点、高校で582点それぞれ増えた。
県内関係の入賞は次の通り。
前回に比べて799点増、中学校賞の中・高各部門で4人、学校賞部門で6校が受賞した。

18年度記者派遣スタート

ニュースから

演じた。

平成という時代のイメージについて、3000人アシケート結果の記事から、高度経済成長などで明るく躍進的なムードに彩られた

田康夫記者が「平成のニュースを振り返る」をテーマとし、1年生285人、2

戦後の昭和と比べ、沈静し

事件報道通し

人権を考える

【猪名川町立猪名川中学校】

平成という時代のイメージについて、3000人アシケート結果の記事から、高度経済成長などで明るく躍進的なムードに彩られた

壁新聞作りの
ポイント伝授

（9月14日）



説明した！写真。

予期せず犯罪被害者となつた男性の心情や活動を報

いた。

実際の新聞の制作工程をじた記事から、「事件はどう伝える「新聞ができるまで」

う防げるか、被害者をどうの動画から、新聞が取材、支えられるか、と共に考え方

編集、印刷、輸送・配達と

NIE推進協議会による1次審査、同協会NIE専門部会による2次審査を通過した作品について最終審査が行われ、個人賞の最優秀賞3点（小中高校各1点）、優秀賞30点、奨励賞120点、学校賞4点を選定した。

（敬称略）

（敬称略）

3面から

記事の書き方
基本を伝える

は違うことを説明した。
写真の効果やインタビュー
の仕方についてもアドバイス
していた。(9月28日)

廿論調査結果
状況で変わる

仕方があるのも魅力だ」と
伝えている。(10月4日)

情報の信頼度
最も高い新聞

【神戸山手女子中学校高校】
神戸新聞社NIE推進室

西田達男室長が高校3年
生8人に「フェイクニュース批判に向き合う」などを

テーマに講義した。

近年の各メディアの1日
当たり利用状況や信頼度を
まとめたグラフから、テレビ
と接する時間が長く、ネット
利用が拡大する一方、情報の信頼度は新聞が最も
高いことを示した。

ネットの世界は眞偽の定
かでない情報も数多く紛れ
込んでいる現状を伝え、メ
ディア・リテラシーを高め
る重要性を指摘。各メディア
の特性を説明し、「信頼
できる情報を載せる新聞が
社会を知る指針となる。新聞
を読む習慣をつけよう」

と呼びかけた。(9月20日)

朝日新聞社姫路支局の直

井政夫支局长が「読みたく
なる新聞作りの工夫」と題

し体験新聞作成の要点を6
年生62人に教えた=写真。

交通事故や自転車レース
体験ルポの記事を示し、記
事の書き方の基本を説明。

良太デスクが職業ガイダン

スセミナーの一環で、「新聞
の仕事」について1年生32人に講演した。

全国紙や地方紙、スポーツ
紙など新聞の種類が多い
が、対象とする読者が主な
違いがないが、面白くやく伝わ
る」と話した。また、小説「雪
国」の冒頭部を紹介。読者は
くやりがいがある」と明らか
に「記者を志すなら、どう
この新聞でどんな記事を書
かなければいけないかをしつかり考える
ことが大切」と話した。

編集部門のほか、広告や
販売、事業、印刷、ネット
業務は多い。「働く場所として
いろいろなアプローチの

と話していた。(10月10日)



加古川市立川西小学校

記者の仕事は

やりがいある

【県立姫路東高校】

朝日新聞東京本社の堀江編集委員が1年生80人に

「世論調査は信頼できるか」をテーマに講義した。

新聞で取り上げたサマー

ラ、8月と9月で結果が逆

転したことを示し、人々の

意見は時々の状況に応じて

タイムに関する世論調査が

変化し、その変化は適時、

調べていないと明らかになら

最近、問題視されている

ことなどを見解した。

見出しや文章を作成する

実習もあり、正確さや分か

りやすさの大切さを強調し

ていた。(10月11日)



【県立兵庫高校】

記者の仕事は

やりがいある

【県立兵庫高校】

朝日新聞東京本社の堀江編集委員が1年生80人に

「世論調査は信頼できるか」をテーマに講義した。

新聞で取り上げたサマー

ラ、8月と9月で結果が逆

転したことを示し、人々の

意見は時々の状況に応じて

タイムに関する世論調査が

変化し、その変化は適時、

調べていないと明らかになら

最近、問題視されている

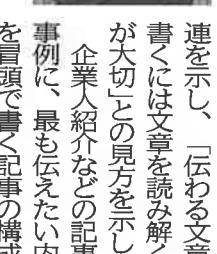
ことなどを見解した。

見出しや文章を作成する

実習もあり、正確さや分か

りやすさの大切さを強調し

ていた。(10月11日)



【県立加古川北高校】

記者の仕事は

やりがいある

【県立武庫丘総合高校】

記者の仕事は

やりがいある

【伊丹市立池尻小学校】

記者の仕事は

やりがいある

【伊丹市立池尻小学校】

記者の仕事は

やりがいある

兵庫県NIE推進協議会は来年2月1日、同協議会20周年記念2018年度NIE実践発表会を神戸ハーバーランドの神戸市産業振興センター10階レセプションルームで開く。「まなびの広がりと進化～NIEをはじめるために～」をテーマとし、午後1時40分から。養父市立建屋小学校

兵庫県NIE推進協議会は来年2月1日、同協議会20周年記念2018年度NIE実践発表会を神戸ハーバーランドの神戸市産業振興センター10階レセプションルームで開く。「まなびの広がりと進化～NIEをはじめるために～」をテーマとし、午後1時40分から。養父市立建屋小学校

兵庫県NIE推進協議会は来年2月1日、同協議会20周年記念2018年度NIE実践発表会を神戸ハーバーランドの神戸市産業振興センター10階レセプションルームで開く。「まなびの広がりと進化～NIEをはじめるために～」をテーマとし、午後1時40分から。養父市立建屋小学校

兵庫県NIE推進協議会は来年2月1日、同協議会20周年記念2018年度NIE実践発表会を神戸ハーバーランドの神戸市産業振興センター10階レセプションルームで開く。「まなびの広がりと進化～NIEをはじめるために～」をテーマとし、午後1時40分から。養父市立建屋小学校

兵庫県NIE推進協議会は来年2月1日、同協議会20周年記念2018年度NIE実践発表会を神戸ハーバーランドの神戸市産業振興センター10階レセプションルームで開く。「まなびの広がりと進化～NIEをはじめるために～」をテーマとし、午後1時40分から。養父市立建屋小学校

兵庫県NIE推進協議会は来年2月1日、同協議会20周年記念2018年度NIE実践発表会を神戸ハーバーランドの神戸市産業振興センター10階レセプションルームで開く。「まなびの広がりと進化～NIEをはじめるために～」をテーマとし、午後1時40分から。養父市立建屋小学校